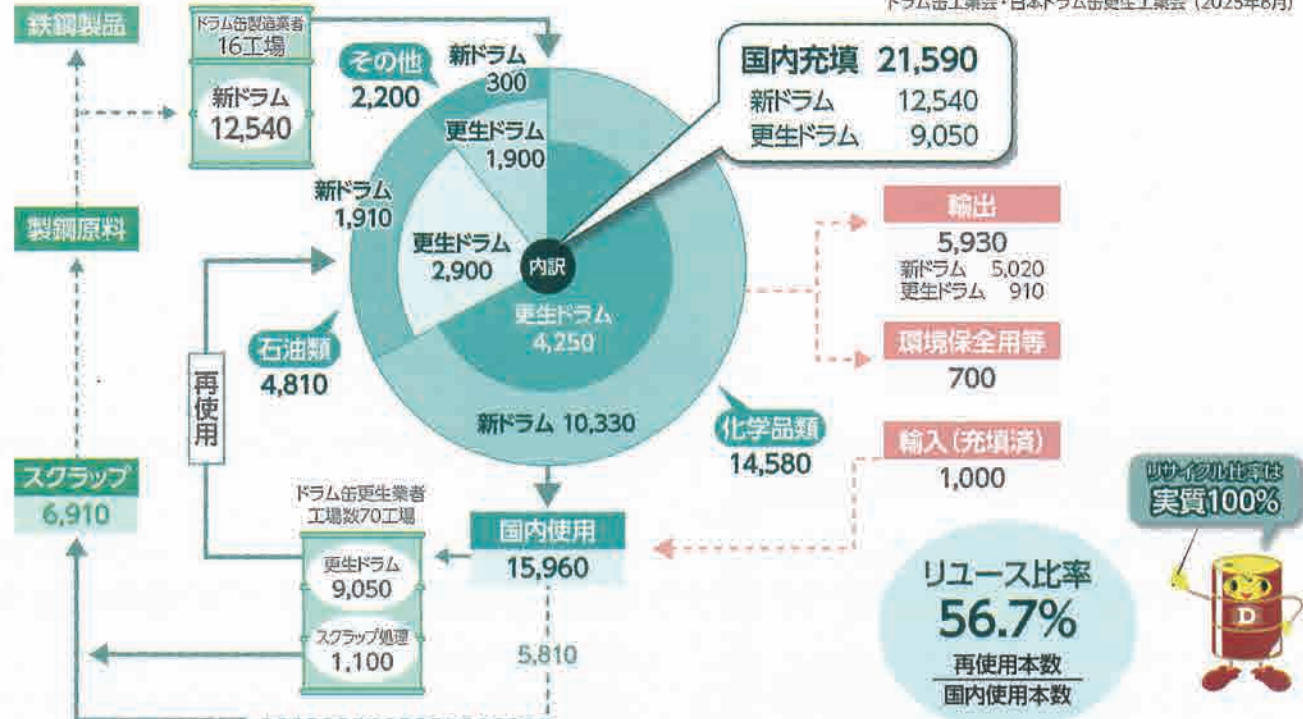


令和6年度（2024年度）

200L鋼製ドラム リユース&リサイクルフローチャート (2024年度ベース 単位:千本)

ドラム缶工業会・日本ドラム缶更生工業会 (2025年8月)

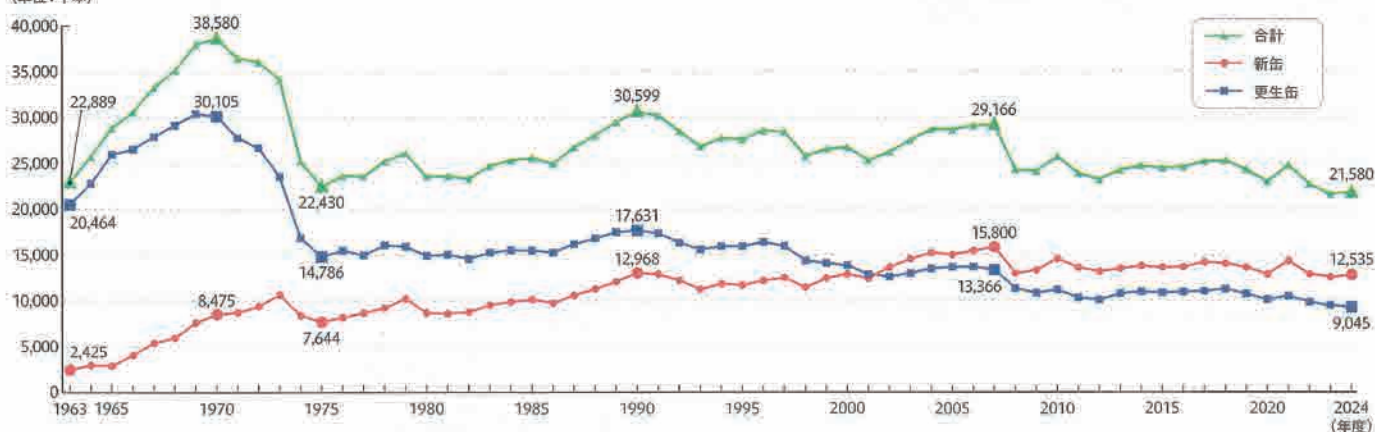


当初(1997年) 2019年度ベース 2020年度ベース 2021年度ベース 2022年度ベース 2023年度ベース 2024年度ベース

工場数	新ドラム	18工場	16工場 (変わらず)	16工場 (変わらず)	16工場 (変わらず)	17工場 (+1)	17工場 (変わらず)	16工場 (-1)
製造 本数	新ドラム	12,000千本	13,560千本 (▲3.1%)	12,820千本 (▲5.5%)	14,260千本 (+11.2%)	12,820千本 (▲10.1%)	12,340千本 (▲3.7%)	12,540千本 (+1.6%)
	更生ドラム	16,000千本	10,720千本 (▲4.6%)	10,090千本 (▲5.9%)	10,480千本 (+3.9%)	9,840千本 (▲6.1%)	9,190千本 (▲6.7%)	9,050千本 (▲1.5%)
	国内充填	28,000千本	24,280千本 (▲3.8%)	22,910千本 (▲5.6%)	24,740千本 (+8.0%)	22,660千本 (▲8.4%)	21,530千本 (▲5.0%)	21,590千本 (+0.3%)
	国内使用	26,000千本	18,080千本 (▲3.9%)	17,070千本 (▲5.6%)	18,290千本 (+7.1%)	16,850千本 (▲7.9%)	15,970千本 (▲5.2%)	15,960千本 (▲0.1%)
	リユース比率	61.5%	59.3% (▲0.4%)	59.1% (▲0.2%)	57.3% (▲1.8%)	58.4% (+1.1%)	57.5% (▲0.9%)	56.7% (▲0.8%)

200Lドラム缶市場動向推移 (1963年度～2024年度)

(単位:千本)



(注) 1. 千本以下四捨五入。 2. 1963年度の新缶生産本数は不明につき、生産トン数67,002トンと1965年度平均単重27.63kgで逆算して算出した。